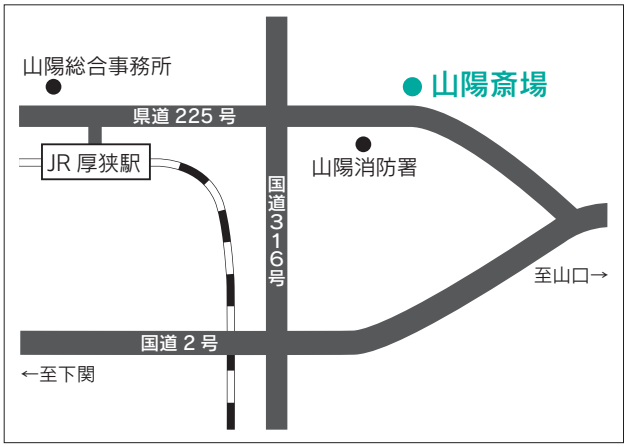
●新火葬場建設の基本方針を決定しました●

「本市単独による山陽斎場での建て替え」を新火葬場建設の基本方針とします

本市にある小野田斎場と山陽斎場の２か所の火葬場は，いずれも供用を開始してから 33 年が経過し，施設の老朽化が著しく，トラブルへの不安が常態化しています。このような状況のなか，市では，市内外を含め複数の火葬場を統合して一つの火葬場を建設するため，合併特例債を活用した新火葬場建設の基本方針について検討を重ねてきました。

この度，新火葬場建設基本方針検討委員会から提言があり，市内 12 会場で開催した市政説明会での意見や市民アンケートの結果などを総合し，新火葬場建設にかかる基本方針を決定しました。



問 環境課（☎ 82-1143）

新火葬場建設基本方針検討委員会

昨年 10 月に，有識者，市民団体の代表および公募市民から成る新火葬場建設基本方針検討委員会を設置しました。当該検討委員会では，３回の会議と現地調査が実施され，基本方針に関する提言が取りまとめられ，12 月 26 日には提言書が市長に提出されました。

白井市長に提言書を手渡す前田良一委員長

提 言 書

○市政説明会での市民の意見も「本市単独による山陽斎場での建て替え」に関するものが最も多い。

○市民アンケートにおいても，回答者の 79.6％が「本市単独による山陽斎場での建て替え」を希望した。特に 51 歳以上の回答者の８割以上がそれを望んでいる。

○今日，少子高齢化・人口減少の進展に伴い，行政運営の効率化を図る必要があるが，本市単独による新火葬場の建設においても，二つの火葬場を一つに統合したことで，事務量やコストの削減を図ることができる。

○「最期は故郷で」という市民感情や本市単独で建設して欲しいという市民の意見を尊重した火葬場の建設は，現在の「まちづくり」の理念に沿うものである。

○以上のことから，本検討委員会としては，新火葬場の建設について「本市単独による山陽斎場での建て替え」を全会一致で提言する。　〈一部抜粋〉

市民アンケート

昨年 11 月１日から 15 日までの間，無作為に抽出した 20 歳以上の市民 2,000 人（小野田地区 1,000 人，山陽地区 1,000 人）を対象として，新火葬場建設に関する市民アンケートを実施しました。

○回収率等　回収 1,010 人，回収率 50.5％

○結果

- 本市単独による山陽斎場での建て替え　804 人（79.6％）
- 広域連携による白石斎場での建て替え　83 人（8.2％）
- どちらでも良い　102 人（10.1％）
- 不明　21 人（2.1％）

新火葬場建設基本方針検討委員会の会議録，各資料等および提言書，市民アンケートの集計結果は，市ホームページに掲載しています。